

———感想その1———

今回の個別フォローは、チームItoの話、仕事でメーカーに対して怒ってしまう話など、色々話す中で、新しい課題に気付かせてもらった。

以前個別フォローで、私は感情に引っ張られやすいとフィードバックをもらったことがある。

メーカーに対して怒ってしまうのもまさにそうで、メーカーが原因でトラブルが起きた時、私の言ってることをすぐに理解して求めている対応をすぐにやってくれるメーカーに対しては、さほど腹は立たない。それに対して、言い訳をしてくいたり、悪びれない態度を取るメーカーに対しては、腹が立つ。

でも、大事なのは、「問題が起きたこと」で、メーカーの反応によって、私の態度に天と地ほどの開きがあるのは、おかしいなと我ながら思う。

事象よりも、相手の反応に引っ張られてしまっていると言える。

ここまでは今までも自覚はあったものの、その理由までは自分の中でわからないままだった。

今回陽子さんに指摘されたのは、「目標が不明確だから、相手の反応に引っ張られるんじゃない？」ということ。

仮にそのトラブルが原因で目標達成ができなかったとしても、相手が真摯に謝罪してくれたら、私は許してしまうだろう。

でも、メーカーの態度がどうであろうと、目標達成ができなかったことは変わらない訳で、こだわるべきなのはそっちなんじゃないか。目の前のことに引っ張られると目的がぶれちゃうよ、と。

陽子さんにそう言われて、こだわるべきところがずれていたことに気が付いた。

そして、これは「踏み込む」話にも繋がっていて、チームItoのメンバーに対しては、最近ようやく躊躇なく踏み込めるようになってきた。でも、それは私が変わったというよりは、2人がそう思わせてくれたという方がしっくりくる。

家族や親しい友人、メーカーに対しては以前から率直に物を言うことができたので、言っても大丈夫だという信用できるカテゴリーに、チームItoのメンバーが入って来てくれたという感覚だ。

でも、これは人によって踏み込むか踏み込めないかを判断しているとも言える。

相手の価値観を理解していないと適切な踏み込みはできないし、相手が求めている、もしくは自分にとって必要だと思えない

と、踏み込もうとはなかなか思えない。

でも、「踏み込める人にだけ踏み込む」のでは、今までとそんなに大差がない。

今回の個別フォローは、「何を伝えたいの？」「どうなりたいの？」という質問が、いつも以上に多かったような気がした。
(これは録音を後から聞き直して気が付いた)

質問に答えていく中で、「価値観が違う相手にも、自分の価値観を伝えられるようになりたい」というのが、私にとっての最終目標なんだと気が付いた。

そして、個別フォローの終盤に、「相手が誰であろうと踏み込めるかどうかは、目標が明確になれば解決するよ」と、大きなアドバイスをもらった。

相手がOKだから踏み込むのではなく、目標達成に必要なことだから踏み込む。

「この課題とこの課題がここで繋がるのか・・・！」と、驚嘆の気持ちだったが、1人ではとても気が付けない、大きな視点をももらった。

目の前のことに一生懸命取り組むのは得意だけど、昔から物事を長期的な視野で考えるのが苦手だった。それも繋がって

るんだらうと思う。

私は人生で主体性を大事にしたいと思っているのだが、10年プロジェクトで学ぶようになってから、主体性と異なる行動をしていたと気付くことが増えた。がっかりもするけど、課題が具体化することが、最近は楽しくもある。

気付いてすぐに改善ができるほど自分是要領が良い人間じゃないこともわかってるけど、気付かないことには成長も望めない訳で。気付くことがまずはスタートだと思うのだ。個別フォローは、そんな自分の課題を自覚させてくれる時間になっている。今回もありがとうございました。

———感想その2———

今回の個別フォローでは、以前自分の価値観を伝えられずにもやついたと個人ボードに書いた先輩のことについても話を聞いてもらった。

今回は伝えられなかったけど、次回同じようなシチュエーションになった時に、うまく伝えられるイメージが自分の中で持てていなかったからだ。

わかっているのは、みんなの前でそれを伝えても、立场上先輩はその場では受け入れないだろうから、後から伝えた方が効

果的だということだけだった。「自分なりに商品開発には力を入れているつもりだから、それまで否定されたようで悲しかった」これなら後から言えそうではある。が、この言い方で先輩に私の気持ちが伝わるだろうか。

そう相談した時に陽子さんから、「先輩とえみちゃんとは、仕事に対する捉え方が違うよね」とフィードバックをもらった。

私の仕事に対する捉え方は、人との繋がり(助け合い)を重んじる人情的なものだけど、先輩は仕事に対して、シンプルに結果しか見ていないんじゃないか。私が先月、先々月と商品開発を頑張っていたという前後は関係なくて、ただ、シンプルに「諦めたこと」に苦言を呈しただけなんじゃない？と。

言われてみて振り返ると、たしかに今まで先輩に「助かりました」、「ありがとうございます」と伝えた時、刺さってる感じがしたことは一度もない(笑)それは先輩の感情表現の薄さが原因だと思ってたけど、採用が決まったことを報告した時は、先輩の貢献の有無に関わらず、喜ばれたことを思い出した。

そうか、先輩が1番大事にしているのは「結果」なんだなあ。身近で働いていながら、この事実を認識できていなかった。

そして、個別フォローの中で、陽子さんに「だから、えみちゃんが先輩に「悲しかった」と伝えたところで、先輩には響かないんじゃない？」とも言われた。

陽子さんのこの見解には、めちゃくちゃ納得した。先輩に響く伝え方がわからなくて、どうしたものかと思っていたけど、それはある意味正解で、**まだまだ先輩の価値観を理解できていなかった。**

今回先輩に注意された時に、色々呑み込んで「はい」と一言で終わらせてしまったけど、その時私が取るべきだったベストな行動は、言い返すことでも、自分の気持ちを伝えることでもなく、先輩の価値観を引き出すようなやり取りだったんだなあ。

先輩の価値観がわかれば、自分の納得感も変わっただろうし、そこからの選択肢もまた変わったと思う。相手の価値観がわかると、選択肢が増えるんだとイメージできた。

「伝える」までにはいくつも段階があって、今は先輩の価値観を理解するフェーズなんだと思う。先輩は「結果を大事にしている」ということを頭に置いて、しばらく先輩の行動を観察してみようと思う。

(E.M 40代女性 埼玉県)